

2026 年北九州大会プログラム(10 月 29 日・・午前)

A 会場 (1F・メインホール)	B 会場 (1F・11 会議室)	C 会場 (2F・国際会議場)
司会 雨宮正臣氏 (JPEC) (9:30～10:30) 1A01(9:30～9:45)液体合成燃料製造用 SOEC 共電解性能向上に向けた研究開発 (産総研¹⁾)○田中洋平¹, 高田尚樹¹, Kuo, P. C.¹, 山口拓哉¹, 中川実徳¹ 1A02(9:45～10:00)コバルト系触媒上での FT 合成反応における酸性酸化物担体の効果 (成蹊大¹, 山梨大²)○佐橋 巧¹, 前田香織¹, 叶 洪¹, 里川重夫^{1,2} 1A03(10:00～10:15)担持コバルト触媒の還元条件が FT 合成に与える影響 (成蹊大¹, 山梨大²)○大島拓海¹, 里川重夫^{1,2}, 叶 洪¹ 1A04(10:15～10:30)CO₂ 直接 FT 合成反応における Sm₂O₃ 担持 Co 触媒の反応性 (成蹊大¹, 山梨大²)○吉田颯翔¹, 井上将一¹, 大森惇史¹, 内野壮貴¹, 内田碧葉¹, 叶 洪¹, 里川重夫^{1,2} 休憩 (10:30～10:45) 司会 佐藤一仁氏 (コスモ石油) (10:45～11:45) 1A05(10:45～11:00)合成ガスの高効率製造技術の開発ーSOEC 共電解とテールガス改質の組み合わせによる効率化ー (JPEC¹)○渡邊治彦¹, 能星英喜¹ 1A06(11:00～11:15)Co 担持触媒における Co-担体相互作用が FT 反応特性に及ぼす影響 (産総研¹)○重信咲季¹, 伊藤 覚¹, 堀口元規¹, 陳 仕元¹, 望月剛久¹ 1A07(11:15～11:30)CO₂ を原料に用いた液体燃料合成用担持型鉄触媒の開発 (名古屋大¹)○小川祐介¹, 西田吉秀¹, 山田博史¹, 佐藤勝俊¹, 永岡勝俊¹ 1A08(11:30～11:45)FT ベンチ装置による液体合成燃料製造検討(第 4 報)FT 触媒活性グレーディングによる反応熱制御検討 (JPEC¹, 太陽石油²)○雨宮正臣¹, 教蓮 亨², 佐藤 行, 関沢礼子¹, 大山信雄¹	司会 和田 透氏 (北陸先端科学技術大学院大学) (9:30～10:30) 1B01(9:30～9:45)ケチミド配位ハーフチタノセン触媒による環状オレフィン共重合体の合成と官能基化 (都立大¹)○澁木麻優¹, 野村琴広¹ 1B02(9:45～10:00)Hand molecular field analysis of norbornene insertion in structurally diverse group 4 olefin polymerization catalysts (Hiroshima Univ.¹, RIKEN²)○Y. Zou¹, S. Yamaguchi², R. Tanaka¹ 1B03(10:00～10:15)Synthesis of half-titanocenes containing unsymmetric imidazolin-2-iminato ligands for ethylene copolymerization (Tokyo Metropolitan Univ.¹, TU Braunschweig²) ○K. Jantawan¹, R. Frank², M. Tamm², K. Nomura¹ 1B04(10:15～10:30)Synthesis of half-titanocenes containing ketimide ligands and their use as catalysts for ethylene copolymerization (Tokyo Metropolitan Univ.¹, Kanagawa Univ.²) ○K. Paramanurak¹, M. Kawatsu¹, S. Shibata², K. Nomura¹ 休憩 (10:30～10:45) 司会 相田冬樹氏 (ENEOS) (10:45～11:45) 1B05(10:45～11:30)【Invited】Tailoring cyclic olefin copolymers and terpolymers via transition metal catalysis: from macromolecular design to functional applications (SCITEC-CNR¹)○S. Losio¹ 1B06(11:30～11:45)The role of comonomer content in tuning the thermal, mechanical, and rheological properties of norbornene-based copolymers and terpolymers (SCITEC-CNR¹)S. Losio¹, ○A. Vignali¹	司会 大村敏一氏 (ENEOS) (10:10～11:30) (10:10～10:15)装置部会長挨拶 (ENEOS)渡邊洋毅 1C01(10:15～10:30)メンテナンス業界団体における作業向けフランジ締結技能講習制度(第 2 報) (レイズネクスト¹)○近藤康治¹ 1C02(10:30～10:45)大規模定期修理工事におけるフランジ継手の漏えい防止対策 (出光興産¹)○高濱展康¹ 1C03(10:45～11:00)重質油ポンプの維持管理における配慮事項 (昭和四日市石油¹)○荒木雄太¹ 1C04(11:00～11:15)硫化物応力腐食割れ環境下での配管工事対応についてーモックアップテストによる工事個所の絞り込み検討ー (出光興産¹)○鶴島 守¹, 平野政男¹ 1C05(11:15～11:30)フロート式レベル計の不具合によるレーダー式レベル計への更新事例 (富士石油¹)○畠澤航琉¹

2026 年北九州大会プログラム(10 月 29 日・午前)

D 会場 (2F・21 会議場)	E 会場 (2F・22 会議室)	F 会場 (3F・32 会議室)
司会 吉川聡一氏 (東京都立大学) (9:30~10:30) 1D01(9:30~9:45)CO₂とアセトニトリルの電気化学的還元によるアラニン合成 (埼玉大¹)○福島昂輝¹, 鈴木崇哲¹, 荻原仁志¹ 1D02(9:45~10:00)Au-Ni 複合触媒によるエチレンへの CO₂挿入反応 (都立大¹, 九州大², 北海道大³, 大阪公大⁴) ○喬 立先¹, 荒田晃生¹, 中山晶皓², 坂口紀史³, 嶋田哲也¹, 高木慎介¹, 石田玉青⁴ 1D03(10:00~10:15)CO₂を原料とするプロセスにおけるカルバミン酸エステルのイソシアネート化触媒の開発 (産総研¹, 東ソー²)○長江春樹¹, 小泉博基¹, 坂口孝太², 吉田拓夢², 松谷崇生², 星野浩慶², 羽村 敏², 山本敏秀², 松本和弘¹, 深谷訓久¹, 崔 準哲¹ 1D04(10:15~10:30)Re 触媒による CO₂吸収エチレンジアミンから <i>N</i>-メチルエチレンジアミンへの水素化反応 (東北大¹, 群馬大²)○元木智博¹, 藪下瑞帆¹, 中川善直², 富重圭一¹ 休憩 (10:30~10:45) 司会 桑原泰隆氏 (大阪大学) (10:45~11:45) 1D05(10:45~11:00)塩基性金属酸化物クラスターと金属イオンの複合化による酸塩基協奏型固体触媒の設計 (都立大¹, 東京大²)○吉川聡一¹, 福田正次¹, Varghese, C.¹, 米里健太郎², 鈴木康介², 河底秀幸¹, 檜垣達也¹, 山口和也², 山添誠司¹ 1D06(11:00~11:15)アンモニア合成に有効な鉄系コアシェル構造とその触媒機能の解明 (科学大¹, 北海道大²)○井 元¹, 清水壽奈¹, 服部真史¹, 石川理史¹, 鳥屋尾 隆², 原 亨和¹ 1D07(11:15~11:30)Is power-to-X the path to effective CO₂ utilization? (AIST¹)○B. Caudle¹, S. Taniguchi¹, T. TH. Nguyen¹, N. Hara¹, S. Kataoka¹ 1D08(11:30~11:45)固液相分離型 DAC システムにおけるイソホロンジアミンの CO₂吸収によって生成するモノカルバミン酸の構造解析 (都立大¹, 東京大², 京都工繊大³, 金沢大⁴) ○熊谷 理¹, 八木原陸矢¹, 吉川聡一¹, 河底秀幸¹, 檜垣達也¹, 米里健太郎², 神林直哉³, 山田秀尚⁴, 鈴木康介², 山添誠司¹		Chair Dr. R. Osuga(Tohoku Univ.)(9:30~10:30) 1F01(9:30~10:00)【Invited】Thermal and photothermal reverse water-gas shift reaction using oxygen-deficient molybdenum oxide catalysts (Univ. Osaka¹)○Y. Kuwahara¹ 1F02(10:00~10:15)Effect of Ni addition to Fe/MgAl₂O₄ catalysts on CO₂ hydrogenation (Saitama Univ.¹)○R. Nomi¹, T. Suzuki¹, H. Ogihara¹, H. Kurokawa¹ 1F03(10:15~10:30)Metallic phase-free dual functional materials effective for CO₂ capture in the presence of O₂ and selective hydrogenation to CO (AIST¹, TU Delft²)○S. Miyazaki¹, Y. Ono¹, T. Sasayama¹, F. Kosaka¹, A. Klein^{1,2}, A. Urakawa², K. Kuramoto¹ Break (10:30~10:45) Chair Dr. H. Fujitsuka(Science Tokyo)(10:45~11:45) 1F04(10:45~11:00)Study on the solid-phase carbonation of CO₂ using CO disproportionation catalytic reactions and the agricultural utilization of the resulting carbon (Waseda Univ.¹, Kubota², Kochi Agri. Center³) ○S. Igarashi¹, T. Masuda¹, M. Sato¹, Y. Hirose², Y. Izumi², W. Shiraishi³, Y. Sekine¹ 1F05(11:00~11:15)Insights into MTO reaction mechanism explored by automated reaction route mapping and operando IR spectroscopy (Univ. Tokyo¹)○W. Kuboki¹, S. Yasumura¹, M. Ogura¹ 1F06(11:15~11:45)【Invited】Applications of sustainable chemical transformation using photocatalysis (Tokyo Univ. Agri. Tech.¹)○K. Nakata¹

2026 年北九州大会プログラム(10 月 29 日・・午前)

G 会場 (3F・33 会議室)		
司会 三宅浩史氏 (大阪大学) (9:30~10:30) 1G01(9:30~9:45)Bi 導入ゼオライト触媒を用いた酸化的エタン脱水素反応 (工学院大¹, JST-PRESTO²)○守田康将¹, 並木則和¹, 前野 禪^{1,2} 1G02(9:45~10:00)低温でのエタン脱水素反応に有効な Pb 導入 MFI ゼオライト触媒の活性点に関する検討 (工学院大¹, JST-PRESTO²)○竹内笙子¹, 並木則和¹, 前野 禪^{1,2} 1G03(10:00~10:15)ゼオライト内包 PtGa 合金触媒を用いたエタンからの直接芳香族合成 (科学大¹)○今井悠人¹, 浅海礼智¹, 後藤秀和¹, 木村健太郎¹, 藤埴大裕¹, 多湖輝興¹ 1G04(10:15~10:30)反応経路自動探索法を活用したメタン脱水素芳香族化の失活メカニズム考察 (東京大¹)○安村駿作¹, 小倉 賢¹ 休憩 (10:30~10:45) 司会 前野 禪氏 (工学院大学) (10:45~11:45) 1G05(10:45~11:00)Pt 系合金の Bader 電荷を予測する機械学習モデルの構築と予測の合理性の考察 (奈良先端大¹) ○高山大鑑¹, 中野真実¹, 原嶋庸介¹, 高須賀聖五¹, 藤井幹也¹ 1G06(11:00~11:15)PdAu 合金ナノ粒子触媒によるベンゼンのヒドロキシ化反応 (横浜国大¹)○長谷川慎吾¹, 今西陽一郎¹, 本倉 健¹ 1G07(11:15~11:30)ETP 反応を指向した Ni, Al 含有メソポーラスシリカ触媒の構築 (大阪大¹)○井本倫子¹, 三宅浩史¹, 内田幸明¹, 西山憲和¹ 1G08(11:30~11:45)Ni 系金属間化合物を用いた高効率アセチレン半水素化反応 (大阪大¹)○田中威頼¹, 中谷勇希¹, 古川森也¹		

2026 年北九州大会プログラム(10 月 29 日・・午後)

A 会場 (1F・メインホール)	B 会場 (1F・11 会議室)	C 会場 (2F・国際会議場)
司会 岩本隆一郎氏 (出光興産) (13:15～14:15) 1A09(13:15～13:30)FT ベンチ装置による液体合成燃料製造検討(第5報)2 kW 級 FT ベンチ装置を用いた HB 触媒が FT 合成に及ぼす影響検討 (JPEC¹, 太陽石油²)○網谷直樹¹, 教蓮 亨², 雨宮正臣¹, 大山信雄¹, 関沢礼子¹, 新谷紀行¹ 1A10(13:30～13:45)液体合成燃料一貫製造プロセスにおけるシミュレーションモデルの構築と製造効率改善の取り組み (JPEC¹)○盛田和行¹, 田畑光紀¹ 1A11(13:45～14:00)FT 合成ナフサ留分のポスト処理によるガソリン燃料基材化の検討 (コスモ石油¹, JPEC²)○濱田夏輝¹, 佐藤一仁¹, 飯塚喜啓¹, 鈴木星哉², 今井章雄², 大森敬朗², 木済寛史², 岡本憲一² 1A12(14:00～14:15)合成燃料へのバイオエタノール有効利用検討 (JPEC¹)○鈴木星哉¹, 今井章雄¹, 大山信雄¹, 大森敬朗¹, 木済寛史¹, 岡本憲一¹ 休憩 (14:15～14:30) 司会 森田光雄氏 (日揮グローバル)(14:30～15:30) 1A13(14:30～15:00)【招待】国内外のプラスチックケミカルリサイクルプラントの動向について (JPEC¹)○高澤隆一¹ 1A14(15:00～15:15)廃プラスチックの石油化学原料化に向けた TOYO-CirPlas の取り組み (東洋エンジ¹, 東北大²)○岡島 聡^{1,2} 1A15(15:15～15:30)プラスチックの新しいリサイクルを実現する廃プラスチック舗装技術 (ENEOS¹)○高田智至¹, 小早川尚之¹, 谷津道寛¹, 吉田優海¹, 内木武虎¹	司会 野村琴広氏 (東京都立大学) (13:15～14:15) 1B07(13:15～13:30)Breaking away from ideal surfaces to explain stereospecific active sites in heterogenous Ziegler-Natta catalysts (JAIST¹)○J. M. da Silveira¹, T. Taniike¹ 1B08(13:30～14:15)【招待】オレフィン重合触媒の複雑構造へのアプローチ (北陸先端大¹)○和田 透¹, 谷池俊明¹ 休憩 (14:15～14:30) 司会 野村琴広氏 (東京都立大学)(14:30～15:30) 1B09(14:30～14:45)生体触媒 Catalase-Peroxidase(KatGs₁)を利用したポリエチレンの酸化改質および資源循環技術への応用 (福島大¹)○星 淳志¹, 西部伸幸¹, 長谷川史音¹, 杉森大助¹ 1B10(14:45～15:00)酵素触媒を用いたポリプロピレン(PP)の精密分解による高付加価値物質(末端メチルケトンオリゴマー, 末端不飽和 PP オリゴマー)への変換, および PP の高度親水化 (福島大¹)○星 斎規¹, 西部伸幸¹, 田中智成¹, 杉森大助¹ 1B11(15:00～15:15)酵素触媒を用いた NBR の精密分解と高付加価値分解生成物 β ケトアルデヒドオリゴマーの高収率化 (福島大¹)○西部伸幸¹, 孔 威¹, 飯島陸公¹, 杉森大助¹ 1B12(15:15～15:30)電気化学的ニコチンアミド系補酵素再生のための電極触媒の開発と生体触媒による物質生産への応用 (大阪公大¹)○久保誠貴¹, 天尾 豊¹	司会 伊藤 剛氏 (ENEOS) (13:00～14:15) 1C06(13:00～13:15)四足歩行ロボット(SPOT)を活用した製油所における予兆保全検討 (コスモ石油¹)○福田美唯¹ 1C07(13:15～13:30)配管内面の腐食を補修する溶接ロボットの開発 (コスモエンジ¹)○又賀和昭¹ 1C08(13:30～13:45)PI データ利活用による課題解決に向けた知恵の創出と仕組み化について (太陽石油¹)○池内博昭¹ 1C09(13:45～14:00)電子操業日誌 PlantLogMeister(PLM)のナレッジ活用 (TMEIC¹)○木曾裕貴¹ 1C10(14:00～14:15)IOW(運転監視項目)の再整理とデジタル技術を活用した監視強化 (コスモ石油¹)○江藤大貴¹ 休憩 (14:15～14:30) 司会 小倉 剛氏 (出光興産) (14:30～15:45) 1C11(14:30～14:45)次世代振動解析を用いたプラント機器の早期異常検知について (三井 E&S¹)○屋敷 湊¹, 重田大地¹, 高山祐輔¹, 脇 隆¹, 清水創太¹, 神谷 宗¹, 飯塚大貴¹ 1C12(14:45～15:00)電流情報量診断による電動機振動上昇不具合原因の特定と設備改善事例の紹介 (出光興産¹)○樋田 了¹, 高橋幸訓¹ 1C13(15:00～15:15)画像解析技術を用いたコンクリート構造物の健全度診断 (中外テクノス¹)○奥井憲昭¹ 1C14(15:15～15:30)外面検査管理アプリを用いた検査効率化 (ENEOS¹, ENEOS HD²)○田中宏和¹, 石井健登² 1C15(15:30～15:45)外面腐食検査 DX—教育アプリ活用による外面腐食検査品質向上— (ENEOS¹)○東山大介¹
(16:00～16:05)会長挨拶 (16:05～16:15)設備維持管理士育成優良事業所表彰式 (16:30～17:20)【特別講演】 ～工業の街から食の聖地へ～「すしの都 北九州市」の挑戦 北九州市都市ブランド創造局すしの都課 課長 吉田 剛		

2026 年北九州大会プログラム(10 月 29 日・・午後)

D 会場 (2F・21 会議場)	E 会場 (2F・22 会議室)	F 会場 (3F・32 会議室)
司会 多田昌平氏 (北海道大学) (13:15~14:15) 1D09(13:15~13:30)FT 合成を経由したカーボンリサイクル LPG 製造技術の開発 (日本製鉄¹, 富山大²)○松田敬太郎¹, 保田修平², 何 英洛², 椿 範立² 1D10(13:30~13:45)CO₂直接 FT 合成におけるアルミナ担持 CuMgFe ハイドロタルサイト由来触媒の Cu-Fe 近接構造と触媒活性 (科学大¹, Univ. Philippines Visayas²)○Chin, T.¹, 中村 拳¹, Calangi, J. D.², 藤埴大裕¹, 多湖輝興¹, 木村健太郎¹ 1D11(13:45~14:00)高選択的炭化水素合成プロセスのためのゼオライト触媒の開発 (徳島大¹, 三菱電機²)○篠原 司¹, 藤本湖太郎¹, 岩井大輝¹, 霜田直宏¹, 川本 誠², 篠木俊雄², 野村泰光² 1D12(14:00~14:15)アルカリ金属添加担持 Rh-MoO_x触媒を用いた CO₂水素化によるエタノール合成 (都立大¹) ○佐藤拓真¹, 魏 増皓¹, 松山剛大¹, 三浦大樹¹, 宍戸哲也¹ 休憩 (14:15~14:30) 司会 杉浦行寛氏 (ENEOS) (14:30~15:45) 1D13(14:30~14:45)流動床を用いたメタネーション反応ーコバルト触媒における担体の検討ー (北見工大¹)○村松泰季¹, 奥村公陽¹, 岡崎文保¹, 坂上寛敏¹ 1D14(14:45~15:00)流動床を用いたメタネーションとメタン直接改質反応による二酸化炭素の炭素への固定化に関する検討 (北見工大¹)○山崎怜央¹, 1D15(15:00~15:15)O₂共存下での CO₂回収水素化によるメタン生成に有効な Al₂O₃担持 Ru-Ni-K 触媒 (工学院大¹, JST-PRESTO²)○菊田皓雅¹, 並木則和¹, 前野 禅^{1,2} 1D16(15:15~15:30)転炉スラグを触媒に利用した逆水性ガスシフト反応と含有 Fe 種の役割 (大阪大¹)○福室遥己¹, 桑原泰隆¹ 1D17(15:30~15:45)Pt および Mo 酸化物ナノ粒子内包中空シリカ触媒を用いた光熱変換型逆水性ガスシフト反応 (大阪大¹, 京都大²)○長谷拓英¹, 高見大地^{1,2}, 森 浩亮¹, 桑原泰隆¹	司会 遠藤健司氏 (石油資源開発) (13:15~14:15) 1E01(13:15~14:00)【招待】石油開発技術が拓く脱炭素社会ーエネルギートランジションへの挑戦ー (九州大¹)○菅井裕一¹ 1E02(14:00~14:15)Invasion percolation を用いた CCS 挙動予測シミュレーターの開発およびアンサンブルカルマンフィルターによるヒストリーマッチング手法の提案 (早稲田大¹)○大島光平¹, 大内久尚¹ 休憩 (14:15~14:30) 司会 高橋優志氏 (ENEOS Xplora) (14:30~15:45) 1E03(14:30~14:45)コンデンセート析出に起因する生産性低下抑制のためのシミュレーションスタディー (INPEX¹)○中島寿徳¹ 1E04(14:45~15:00)天然水素探鉱の動向とポテンシャルー石油システム概念と E&P 技術の応用ー (石油資源開発¹)○大谷猛亮¹, 齋藤雄一¹, 林 努¹ 1E05(15:00~15:15)SPring-8 による超高解像度岩石画像の超解像処理とデジタル岩石物理解析への適用 (東京大¹, INPEX², 高輝度光科学研究センター³)○小峯健太郎¹, 岩間弘樹², 上杉健太郎³, 小林 肇¹ 1E06(15:15~15:30)資源開発事業における社内に蓄積された教訓知見を活用するための AI 開発事例 (INPEX¹)○野村幸人¹, 飯塚 諒¹, 坂本 壮¹ 1E07(15:30~15:45)JAPEX におけるノルウェー事業紹介 (石油資源開発¹)○加藤 新¹	Chair Dr. T. Takayama(NAIST)(13:15~14:15) 1F07(13:15~13:45)【Invited】Development of catalyst materials utilizing metal suboxides (Hokkaido Univ.¹)○R. Otomo¹ 1F08(13:45~14:00)Deoxydehydration of vicinal diols over rhenium-based catalysts under atmospheric hydrogen pressure (Tohoku Univ.¹)○P. A. Krisbiantoro¹, Y. Nakagawa¹, M. Yabushita¹, K. C. W. Wu¹, K. Tomishige¹ 1F09(14:00~14:15)Chemical recycling of PET by homogeneous FeCl₃-amine catalysts (Tokyo Metropolitan Univ. ¹) ○Y. Ishikawa¹, K. Jaiyen¹, K. Nomura¹ Break (14:15~14:30) Chair Dr. K. Tashiro(Shizuoka Univ.)(14:30~15:30) 1F10(14:30~14:45)Precursor-dependent carbon nitride engineering for highly selective quinoline hydrogenation over low-loading Ru catalysts (Hokkaido Univ.¹) ○K. Kumar¹, H. Ishikawa¹, A. Oda¹, T. Murayama¹ 1F11(14:45~15:00)Selective hydration of alkynes catalyzed by activated carbon-supported gold nanoparticles (Hokkaido Univ.¹)○H. Ishikawa¹, Y. Wu¹, A. Oda¹, T. Murayama¹ 1F12(15:00~15:15)Coke formation behavior and potential contributing factors during thermal CVD of C4 and C5 hydrocarbons (Kyoto Univ.¹, Science Tokyo²) ○W. Jin¹, H. Fujitsuka², M. Kawase¹ 1F13(15:15~15:30)Development of carbon iron composite catalysts for ammonia decomposition (Nagoya Univ.¹, Shinshu Univ.²)○S. Hong¹, H. Yamada¹, Y. Mukai², K. Sato¹, K. Nagaoka¹

2026 年北九州大会プログラム(10 月 29 日・・午後)

G 会場 (3F・33 会議室)		
司会 中谷勇希氏 (大阪大学) (13:15～14:15) 1G09(13:15～13:30)ゼオライト系触媒カラムによる 1,2-ジオールとエポキシ化合物の連続スイッチ合成 (産総研¹, 東京大²)○今 喜裕¹, 中島拓哉¹, 永島裕樹¹, 小野澤俊也¹, 小林 修^{1,2} 1G10(13:30～13:45)高 LCO 型 FCC 触媒の開発 (日揮触媒化成¹)○田中千鈴¹, 太田吏音¹, 新宅 泰¹, 城戸直之¹ 1G11(13:45～14:00)熱分析装置を用いた保護剤被覆金属触媒の還元度評価法－FT 合成触媒への適用－ (ENEOS¹) ○須藤拓哉¹, 荒木泰博¹, 新宮英樹¹, 新垣洪介¹, 金子拓矢¹ 1G12(14:00～14:15)卑金属担持 Zr₃SO₉ のブタン異性化 (科学大¹)○菅谷真央¹, 石川理史¹, 原 亨和¹ 休憩 (14:15～14:30) 司会 新宅 泰氏 (日揮触媒化成) (14:30～15:45) 1G13(14:30～14:45)フッ化物塩とシリコン粉末を用いるニトロアレーンの還元反応 (横浜国大¹)○新木 桃¹, 白下拓哉¹, 長谷川 慎吾¹, 本倉 健¹ 1G14(14:45～15:00)セリウム塩存在下におけるニトロ化合物とアルコールの直接変換による含窒素有機化合物の合成 (香川大¹)○和田健司¹, 趙 波¹, Jahan, I.¹, 栗原亮介¹, 上村 忍¹ 1G15(15:00～15:15)不均一系触媒を用いたビアリール骨格の酸化的開裂による安息香酸合成 (都立大¹, 九州大², 北海道大³, 大阪公大⁴)○荒田晃生¹, 中山晶皓², 坂口紀史³, 嶋田哲也¹, 高木慎介¹, 石田玉青⁴ 1G16(15:15～15:30)低原子価チタン酸化物を用いた選択的アセタール化 (北海道大¹)○山崎大輝¹, 佐藤未悠¹, 田中 太¹, 神谷裕一¹, 大友亮一¹ 1G17(15:30～15:45)固相転換法による Pt@MFI ゼオライト触媒の開発とベンゼン直接エチル化反応の評価 (科学大¹) ○福島功基¹, 遠藤海咲¹, 木村健太郎¹, 藤埴大裕¹, 多湖輝興¹		

2026 年北九州大会プログラム(10 月 30 日・・午前)

A 会場 (1F・メインホール)	B 会場 (1F・11 会議室)	C 会場 (2F・国際会議場)
司会 中野宏二氏 (日揮触媒化成) (9:00～10:00) 2A01(9:00～9:15)製油所装置による多種混合廃プラの大規模処理技術開発(第 1 報)重油との共処理による廃プラスチックの低分子化条件検討 (東北大¹, 京大², ENEOS³, JPEC⁴)○中嶋魁心¹, 熊谷将吾¹, Phanthong, P.¹, 斯琴高娃¹, 齋藤優子¹, 田村正純², 松下康一³, 森北孝志⁴, 高澤隆一⁴, 吉岡敏明¹ 2A02(9:15～9:30)製油所装置による多種混合廃プラの大規模処理技術開発(第 2 報)重油水素化脱硫反応における廃プラスチック共処理油の影響 (ENEOS¹, 東北大², 京大³, JPEC⁴) 松下康一¹, ○阿川 陽¹, 中嶋魁心², 熊谷将吾², 吉岡敏明², 田村正純³, 森北孝志⁴, 高澤隆一⁴, 平尾朋之¹, 前田 拓¹ 2A03(9:30～9:45)レニウム修飾ルテニウム触媒によるポリオレフィン系プラスチックの水素化分解 (京大¹)○福田 廉¹, 喜多裕介¹, 陳 鵬茹¹, 田村正純¹ 2A04(9:45～10:00)Selective hydrogenolysis of polyethylenes over La₂O₃-CeO₂-supported Ru catalysts (Kyoto Univ.¹)○Z. Peng¹, Y. Kita¹, C. Pengru¹, M. Tamura¹ 休憩(10:00～10:15)	司会 財部明郎氏 (財部技術士事務所) (9:00～10:00) 2B01(9:00～9:30)【招待】非循環式芦野温泉に含まれるイオン化合物の分析方法および有効成分の温泉効果 (ノックス¹)○佐藤省吾¹, 橋本喜代美¹ 2B02(9:30～9:45)小浜温泉からのリチウム回収について (レアメタル技研¹, ENEOS HD²)○山縣亮介¹, 菅 伸治¹, 吉塚和治¹, 服部泰久² 2B03(9:45～10:00)廃木材から調製した活性炭による石油類中水銀除去 (愛媛大¹, IH テクノロジー²)○山浦弘之¹, 杉野舞佳¹, 山下泰将¹, 山口修平¹, 幾島嘉浩², 八尋秀典¹ 休憩(10:00～10:15)	司会 小宮満明氏 (出光興産) (9:00～10:15) 2C01(9:00～9:15)装置停止を回避する基礎補強の新たな工法実現 (出光興産¹)○Luong, L.¹ 2C02(9:15～9:30)重質油溶解薬剤を用いたアスファルトタンク清掃の新規採用と各種改善事例 (東亜石油¹)○清水大器¹ 2C03(9:30～9:45)コークドラム OHD 配管の減肉事例について (コスモ石油¹)○小野寺優奈¹ 2C04(9:45～10:00)複合材フローティングルーフ(腐食問題を解消する方法)(第 1 報)複合材料の主要な性能特性 (HMT¹)○浦 浩志¹ 2C05(10:00～10:15)複合材フローティングルーフ(腐食問題を解消する方法)(第 2 報)技術の軌跡と安全性の検証 (HMT¹)○浦 浩志¹ 休憩(10:15～10:30)
司会 高澤隆一氏 (JPEC) (10:15～11:15) 2A05(10:15～10:30)Zr₃SO₉触媒によるポリオレフィンの分解反応 (室蘭工大¹, 科学大²)○神田康晴¹, 田村 豪¹, 石川理史² 2A06(10:30～10:45)MFI 型ゼオライトを触媒とするアルカンの液相分解挙動 (鳥取大¹)○中下生翔¹, 本田 遼¹, 松下真一郎¹, 津野地 直¹, 辻 悦司¹, 片田直伸¹ 2A07(10:45～11:00)石灰を含むポリエチレン分解における Beta 触媒の効果 (早稲田大¹, 理科大²)○今村聡見¹, 酒井 求^{1,2}, 松方正彦¹ 2A08(11:00～11:15)炭化水素溶媒中における HDPE 分解反応に用いるアルカリ処理ゼオライト触媒の開発 (早稲田大¹, 理科大²)○神木大輝¹, 酒井 求^{1,2}, 松方正彦¹	司会 山浦弘之氏 (愛媛大学) (10:15～11:15) 2B04(10:15～10:30)水銀濃度に適合した水銀除去材の開発 (IH テクノロジー¹, 愛媛大²)○幾島賢治¹, 幾島将貴¹, 八尋秀典² 2B05(10:30～10:45)廃蛍光灯処理における水銀の適正処理とレアアースを含む蛍光体の回収 (野村興産¹)○岩瀬博樹¹ 2B06(10:45～11:00)バイオエタノールの製造と微量不純物の抽出除去 (財部技術士事務所¹)○財部明郎¹ 2B07(11:00～11:15)酸化チタン光触媒によるジベンゾチオフェンの酸化と液体燃料脱硫への応用 (九州大¹, 都立大², 神奈川工科大³)○福本孝志¹, 山内崇弘¹, 田原諒紀², 中山晶皓¹, 吉澤明菜¹, 山本英治¹, 嶋田哲也², 高木慎介², 村山美乃³, 徳永 信¹	司会 曾我卓司氏 (太陽石油) (10:30～11:30) 2C06(10:30～10:45)設備保全管理システムー運転中・定修中保全業務に対する効率化/業務品質向上の報告ー (ENEOS¹)○浅野慎介¹ 2C07(10:45～11:00)超音波厚さ測定による FRP 構造物の劣化評価と運転中適用に関する検討 (富士石油¹)○林田政徳¹ 2C08(11:00～11:15)常圧蒸留装置常圧蒸留塔へのオンライン肉厚測定の適用 (出光興産¹)○前田将太¹ 2C09(11:15～11:30)減圧軽油水添脱硫装置ー加熱炉バイパス運転のプロセス構築と設備改造検討ー (出光興産¹)○加藤康之¹

2026 年北九州大会プログラム(10 月 30 日・・午前)

D 会場 (2F・21 会議室)	F 会場 (3F・32 会議室)	G 会場 (3F・33 会議室)
司会 木村信啓氏 (ENEOS) (9:30～10:15) 2D01(9:30～10:15)【招待】熱分解を起点とするバイオマスからの合成ガス，化学品および炭素材のコプロダクション (九州大¹)○林 潤一郎¹，工藤真二¹，Ashik, U. P. M.¹ 休憩 (10:15～10:30) 司会 菅沼学史氏 (北海道大学) (10:30～11:30) 2D02(10:30～10:45)多段式スパイラル構造体触媒システムを用いたバイオガスの直接メタン化特性 (静岡大¹)○赤間 弘¹，植田祥太¹，松野太信¹，渡部 綾¹ 2D03(10:45～11:00)Ni-Ru バイメタルナノ粒子触媒の調製およびそれを用いた酢酸水蒸気改質 (東京農工大¹)○陶山直子¹，Silmina, S.¹，錢 衛華¹ 2D04(11:00～11:15)天然貝殻由来炭酸カルシウムの熱分解と還元を利用した合成ガスの製造 (成蹊大¹，山梨大²) ○大津羽留佳¹，荒井奈菜¹，西條文規¹，叶 洪¹，里川重夫^{1,2} 2D05(11:15～11:30)グルコースを還元力として利用可能な形質転換メタン資化細菌の構築 (科学大¹，慶應大²)○加藤和也¹，尾台俊亮²，宮地輝光²，伊藤栄紘¹，蒲池利章¹	司会 赤間 弘氏 (静岡大学) (9:00～10:00) 2F01(9:00～9:15)大崎上島におけるアンモニアメタネーション試験用ベンチ装置の概要と設置状況 (広島大¹，広島ガス²)○斉間 等¹，砂本礼志¹，木村 保²，田端 主²，宮岡裕樹¹，市川貴之¹ 2F02(9:15～9:30)成形体触媒を用いた電場触媒反応によるアンモニア分解 (早稲田大¹，日本特殊陶業²)○平田克真¹，南 貴翔¹，秋山広夢¹，乾 敦寛¹，重本彩香¹，中川尚人²，池山耕太²，関根 泰¹ 2F03(9:30～9:45)アンモニアからの高効率水素製造に向けた酸化バナジウム担持 Ni 触媒の開発 (山梨大¹，鈴鹿高専²，太陽鉦工³)○河津龍翔¹，南部智憲²，吉永英雄³，柳 博¹，小俣香織¹ 2F04(9:45～10:00)ギ酸誘導体を用いたクリーン水素供給プロセスの紹介 (INPEX¹)○佐野洋介¹ 休憩 (10:00～10:15) 司会 織田 晃氏 (北海道大) (10:15～11:15) 2F05(10:15～10:30)低コストモジュラー型 PEM 水電解システムに向けた水枯れ挙動評価 (電中研¹)○小林 駿¹ 2F06(10:30～10:45)固体リン酸塩電解質を用いた中温アンモニア合成用 Fe/BZY カソード触媒の研究 (北海道大¹，高輝度光科学研究センター²)○多田昌平¹，中島大和¹，畑沢星臣¹，本間徹生²，菊地隆司¹ 2F07(10:45～11:00)Z スキーム水分解のための LaTiO₂N 酸素生成光触媒への助触媒共担持とレドックス反応への影響の調査 (東北大¹，名古屋大²)○吉野隼矢¹，山谷 陽¹，茂野未夢¹，徐 鉅威¹，小林 亮²，加藤英樹¹ 2F08(11:00～11:15)通電加熱式の Co 系スパイラル形触媒によるバイオエタノールの改質特性の評価 (静岡大¹)○美濃一秀¹，岩橋宙来¹，赤間 弘¹，渡部 綾¹	司会 石川理史氏 (東京科学大学) (9:00～10:00) 2G01(9:00～9:15)微量のアルカリ金属イオン添加が ZSM-5 合成に及ぼす影響 (早稲田大¹，理科大²)○吉岡 元¹，酒井 求^{1,2}，松方正彦¹ 2G02(9:15～9:30)SSZ-13 ゼオライトの結晶化に及ぼす種結晶ならびに熟成処理条件の影響 (科学大¹)○栗原基輝¹，王 勇¹，横井俊之¹ 2G03(9:30～9:45)ブレンディング法による CON 型ゼオライト合成における原料 MFI 型および Beta 型ゼオライトの Al 量の影響 (科学大¹)○田口智暁¹，中村壮希¹，豊田大翔¹，横井俊之¹ 2G04(9:45～10:00)共鳴 X 線発光分光で捉えるゼオライト結晶化に先行したシリケート骨格の局所秩序化 (東北大¹，QST²，NIMS³，東京大⁴，科学大⁵)○二宮 翔¹，板本航輝¹，荻原彩加¹，Ugalino, R.²，Yin, Z.¹，木内久雄³，原田慈久⁴，横井俊之⁵，西堀麻衣子¹ 休憩 (10:00～10:15) 司会 横井俊之氏 (東京科学大学) (10:15～11:15) 2G05(10:15～10:30)木質バイオマス燃焼灰からの CHA ゼオライト合成 (北九大¹)○今井裕之¹，加藤蘭丸¹ 2G06(10:30～10:45)ルイス酸点を豊富に有する Nb 高含有 MFI 型ゼオライトの新規合成 (大阪大¹)○中井流雅¹，三宅浩史¹，内田幸明¹，西山憲和¹ 2G07(10:45～11:00)DAC 用固体吸着材として利用可能な有機-無機ハイブリッド型層状シリケート物質の開発と性能評価 (北九大¹，産総研²)○浦瀬菜々¹，山本勝俊¹，池田拓史² 2G08(11:00～11:15)結晶性硫酸化ニオブ複合酸化物の局所構造で発現する酸触媒機能の開拓 (科学大¹，産総研²) ○沼田裕喜¹，石川理史¹，池田拓史²，原 亨和¹

2026 年北九州大会プログラム(10 月 30 日・・午後)

A 会場 (1F・メインホール)	B 会場 (1F・11 会議室)	C 会場 (2F・国際会議場)
司会 秋本 淳氏 (エネルギー総合工学研究所) (13:00～13:45) 2A09(13:00～13:30)【招待】SAF SCS 認証制度の概要とマスマラン スの考え方 (日本海事協会¹⁾)○山崎聡美¹ 2A10(13:30～13:45)製油所共処理原料としての日本杉バイオオイル の試作と一般性状分析 (JPEC¹)○盛満耕造¹, 佐瀬 潔¹, 栗原 功¹ 休憩 (13:45～14:00)	司会 大島一真氏 (成蹊大学) (13:00～14:00) 2B08(13:00～13:15)カリウムカチオン導入 MOR 型ゼオライトの合 成と吸着特性 (早稲田大¹, 理科大²)○塩谷大翔¹, 久米紘平¹, 酒井 求^{1,2}, 松方正彦¹ 2B09(13:15～13:30)B サイトを部分置換したペロブスカイト型酸化 物触媒を用いた N₂O 分解 (北海道大¹)○川村知士¹, 安斎潤一郎¹, 大井涼平¹, 神谷裕一¹, 大友亮一¹ 2B10(13:30～13:45)アルミニウム系産業廃棄物を担体原料とした燃 焼プロセス用担持金属触媒の開発 (徳島大¹)○南出悠希¹, 山岡翔輝¹, 霜田直宏¹ 2B11(13:45～14:00)コバルト-鉄系触媒を用いた Boudouard 反応の 活性評価 (北見工大¹)○村田一真¹, 鈴木雄大¹, 城村優利¹, 岡崎文保¹, 坂上寛敏¹ 休憩 (14:00～14:15)	司会 竹内健史氏 (出光興産) (13:00～13:45) 2C10(13:00～13:15)数値シミュレーションと DRIFTS の統合的利用 による NTA 反応ダイナミクス解析 (科学大¹, Chulalongkorn Univ.²)○Hwang, H.¹, Wijakmatee, T.², 多湖輝興¹, 松本秀行¹ 2C11(13:15～13:30)マルチモーダル機械学習を用いたメタン分解触 媒反応の性能予測 (産総研¹)○伊藤 寛¹, 陳 仕元¹, 望月剛久¹ 2C12(13:30～13:45)超音波を用いた触媒スラリー調合プロセス設計 へのシステムズアプローチ (科学大¹)○松本秀行¹ 休憩 (13:45～14:00)
司会 松下康一氏 (ENEOS) (14:00～15:00) 2A11(14:00～14:15)含酸素化合物共存下におけるジベンゾチオフェ ンおよび軽油の水素化脱硫反応の動力学解析 (東京農工大¹)○劉 可欽¹, 陳 達芊¹, 彭 明明¹, 錢 衛華¹ 2A12(14:15～14:30)減圧残油とバイオオイルの共熱分解における相 互作用 (東北大¹, National Research and Innovation Agency of Indonesia², JPEC³, LECO ジャパン⁴, 日本電子⁵) ○熊谷将吾¹, Kusumawati, M. B.^{1,2}, 鈴木昭雄³, 樺島文恵⁴, 櫻井昌文⁴, 中井由実⁵, 佐藤貴弥⁵, Siqingaowa, B.¹, Phanthong, P.¹, 齋藤優子¹, 吉岡敏明¹ 2A13(14:30～14:45)重質油の接触分解およびバイオマスプロセス シグを対象とした機械学習モデルによる生成物組成予測 (信州大¹)○嶋田五百里¹, 児玉侑平¹, 宇野哲平¹ 2A14(14:45～15:00)トル油のメチルエステル化による成分変化と 腐食性への影響評価 (JPEC¹)○阿部美穂子¹, 松本幸太郎¹, 佐瀬 潔¹, 栗原 功¹ 休憩 (15:00～15:15)	司会 霜田直宏氏 (徳島大学) (14:15～15:30) 2B12(14:15～14:30)プラスチック熱分解と触媒反応の複合プロセス の最適化の検討 (九州大¹, 成蹊大²)○山本幸輝¹, 大島一真², 中川究也¹ 2B13(14:30～14:45)ナノポーラスアルミノシリケート触媒によるボ リオレフィン分解に及ぼす細孔径の影響 (大阪大¹)○中山正太郎¹, 三宅浩史¹, 内田幸明¹, 西山憲和¹ 2B14(14:45～15:00)タイヤ熱分解油の水素化処理触媒評価(第 2 報) 実プロセス導入を見据えた反応条件検討 (ENEOS¹)○岡田幸恵¹, 富室洋介¹, 小野稜太¹, 岩本里菜¹, 可児正也¹ 2B15(15:00～15:15)プラスチックとバイオオイルの混合接触分解に おける原料間相互作用の解析 (信州大¹)○奥野皓太¹, 長田光正¹, 福長 博¹, 高橋伸英¹, 嶋田五百里¹ 2B16(15:15～15:30)溶媒循環を指向した溶媒選択-LCA とプロセ スシミュレーションによる統合評価ー (産総研¹)○山木雄大¹, 片岡 祥¹ 休憩 (15:00～15:15)	司会 松本秀行氏 (東京科学大学) (14:00～15:00) 2C13(14:00～14:15)重質油の配管混合に対する数値流体解析検討 (第 1 報)ラボ実験装置内の流動状態解析 (コスモ石油¹) ○杉山雅弘¹, 鈴木伸也¹, 長谷山翔真¹, 宮成節子¹ 2C14(14:15～14:30)重質油の配管混合に対する数値流体解析検討 (第 2 報)プロセススケールへの拡張 (コスモ石油¹) ○長谷山翔真¹, 鈴木伸也¹, 杉山雅弘¹, 宮成節子¹ 2C15(14:30～14:45)アセットパフォーマンスマネジメント(APM)に よるデータドリブンの設備管理 (横河ソリューションサービス¹)白井呂尚¹, ○宅島修平¹, 斎藤芳明¹, 品川俊太¹, 井上裕司¹, 久米智弘¹, 北村 智¹ 2C16(14:45～15:00)定修計画策定と実行を効率化するテクノロジー の紹介 (EY ストラテジー・アンド・コンサルティング¹)○安並 裕¹ 休憩 (15:00～15:15)
司会 藤井重孝氏 (千代田化工建設) (15:15～16:15) 2A15(15:15～15:30)外挿成分予測 AI を活用した石油系残油留分の 構造同定予測手法の開発 (静岡大¹, JPEC²)○村上裕哉¹, 松本幸太郎², 新井宏昌² 2A16(15:30～15:45)FCC 装置予熱熱交換器におけるファウリング 抑制技術の開発 (JPEC¹, コスモ石油²)○佐瀬 潔¹, 鈴木昭雄¹, 栗原 功¹, 大野琢也², 萩原和彦² 2A17(15:45～16:00)流動接触分解原料油と硫化鉄の混合物の加熱に よるファウリング生成 (産総研¹, コスモ石油², JPEC³)○麓 恵里¹, 佐藤信也¹, 柿沼敏弘¹, 松澤貞夫¹, 森本正人¹, 大野琢也², 萩原和彦², 佐瀬 潔³, 鈴木昭雄³ 2A18(16:00～16:15)VGO への FAME 混合による分子集合状態変化 の濃度依存性 (千葉大¹, 産総研², JPEC³, 出光興産⁴) ○森田 剛¹, 麓 恵里², 森本正人², 佐瀬 潔³, 田中隆三^{3,4}, 鈴木昭雄³		司会 砂山洋樹氏 (ドレーゲル) (15:15～16:00) 2C17(15:15～15:30)エネルギー産業における生成 AI の活用 ーマイクロソフトの実践に見る技術の進化, 国内外事例, 実装の 勘所ー (マイクロソフト¹)○飯田誠一¹ 2C18(15:30～15:45)エンジニアの知恵を持つ AI ソリューション (IntuigenceAI¹)○林 重光¹ 2C19(15:45～16:00)AI ファーストマニュファクチャリングに向け た自律制御 AI の実用化と展開 (横河デジタル¹)○岡本浩実¹

2026 年北九州大会プログラム(10 月 30 日・・午後)

D 会場 (2F・21 会議室)	F 会場 (3F・32 会議室)	G 会場 (3F・33 会議室)
司会 宮城 伸氏 (ENEOS) (13:15～14:15) 2D06(13:15～13:30)複合金属酸化物触媒を用いたリグニン酸化重合によるバニリン類と乳酸の製造 (東京農工大¹)○山田理紗¹, 彭 明明¹, 銭 衛華¹ 2D07(13:30～13:45)ゼオライト触媒によるハイドロカルダノールの脱アルキル化を基軸としたバイオフェノール合成 (東北大¹, 北海道大²)○大須賀遼太¹, 入場啓介², Wiesfeld, J.², 菅沼学史², 中島清隆² 2D08(13:45～14:00)固体触媒による HMF アセタールの Diels-Alder 反応 (北海道大¹, 東北大²)○大江志茉¹, 大須賀遼太², 菅沼学史¹, 中島清隆¹ 2D09(14:00～14:15)PEF 製造を志向した担持 Au 触媒を用いた HMF アセタールの酸化的エステル化反応 (北海道大¹, 東北大²)○新井 直¹, 大須賀遼太², 菅沼学史¹, 中島清隆¹ 休憩 (14:15～14:30) 司会 蒲池利章氏 (東京科学大学) (14:30～15:30) 2D10(14:30～14:45)Selective production of even-carbon paraffins from pongamia oil over Ru-based catalysts (Tokyo Univ. Agri. Tech.¹)○S. Muhammad Sony¹, K. Kamon¹, E. W. Qian¹ 2D11(14:45～15:00)担持金属触媒を用いたヘミセルロースから軽質炭化水素への変換 (高知大¹, 早稲田大²)○小河脩平¹, 岩佐侑奈¹, 堀江成樹¹, 細川実紘², 関根 泰², 上田忠治¹, 恩田歩武¹ 2D12(15:00～15:15)Y・ゼオライト・Al₂O₃複合担体担持 Pt 触媒を用いたオレイン酸メチルの水素化分解反応によるジェット燃料製造-Al₂O₃含有量の影響- (三重大¹)○財津秀章¹, 宮前多雅¹, 橋本忠範¹, 石原 篤¹ 2D13(15:15～15:30)Ni 系触媒と固体酸触媒の相乗効果によるブテンオリゴマー化によるジェット燃料選択性の向上 (日揮触媒化成¹)○瀬戸由佳¹, 黒木孝行¹, 田川和成¹, 鍵谷真吾¹, 清水幸太¹, 山根健治¹, 山口陽子¹	司会 本倉 健氏 (横浜国立大学) (13:00～14:00) 2F09(13:00～13:15)メタン直接改質反応-回転炉反応器での検討- (北見工大¹)○田村柊人¹, 岡崎文保¹, 坂上寛敏¹ 2F10(13:15～13:30)北海道内温泉付随ガスのメタン直接改質反応-共存ガスの影響の検討- (北見工大¹, 道総研², 福井県立大³)○長谷川伊織¹, 岡崎文保¹, 木田真人¹, 南 尚嗣¹, 大森一人², 林 圭一³, 鈴木隆広², 坂上寛敏¹ 2F11(13:30～13:45)二元金属触媒を用いた高圧下での電場中メタンドライリフォーミング (早稲田大¹, クラサスケミカル²)○知沢美咲¹, 堀口太裕¹, 下村隼人², 松原仁志², 板垣真太郎², 関根 泰¹ 2F12(13:45～14:00)NH₃を還元剤に用いた Carbon Capture and Reduction(CCR)プロセスのための担持 Ru 触媒の開発 (名古屋大¹)○村田峻成¹, 山田博史¹, 永岡勝俊¹, 佐藤勝俊¹ 休憩 (14:00～14:15) 司会 荻原仁志氏 (埼玉大学) (14:15～15:15) 2F13(14:15～14:30)Development of an optimization platform for the design and feasibility assessment of CO₂-based industrial complexes (AIST¹)○T. Nguyen¹, S. Taniguchi¹, T. Yamaki¹, N. Hara¹, S. Kataoka¹ 2F14(14:30～14:45)Cu 錯体触媒の構造制御による電気化学的 CO₂還元における生成物選択性制御 (横浜国大¹)○木場結月¹, 田代麻桜¹, 長谷川慎吾¹, 信田尚毅¹, 上野和英¹, 本倉 健¹ 2F15(14:45～15:00)選択的 CO 酸化反応に対する層状複水酸化物担持金触媒の活性-層状複水酸化物における金属種の影響- (都立大¹, 大阪公大², 九州大³, 北海道大⁴, 高輝度光科学研究センター⁵)○鈴木理久¹, 中山晶皓³, 坂口紀史⁴, 村山 徹⁴, 本間徹生⁵, 嶋田哲也¹, 高木慎介¹, 石田玉青^{1,2} 2F16(15:00～15:15)KFe 系触媒を用いた CO₂水素化反応 (東京農工大¹)○青山 海¹, 仇 啓涵¹, 銭 衛華¹ 休憩 (15:15～15:30) 司会 佐藤勝俊氏 (名古屋大学) (15:30～16:15) 2F17(15:30～15:45)生体触媒を用いた二酸化炭素を原料とするイソクエン酸およびそのラクトン体合成 (大阪公大¹)○杉本琳香¹, 天尾 豊¹ 2F18(15:45～16:00)Zn-Fe 系スピネル酸化物と SSZ-13 による CO₂からのタンデム型炭化水素合成 (早稲田大¹, 理科大²)○森 弘毅¹, 酒井 求^{1,2}, 松方正彦¹ 2F19(16:00～16:15)二酸化炭素からのジメチルエーテルおよび炭化水素の直接合成 (静岡大¹)○武石 薫¹, 岡崎 諒¹	司会 神田康晴氏 (室蘭工業大学) (13:00～14:00) 2G09(13:00～13:15)ゼオライト触媒の特性を活用した多元機能触媒による二酸化炭素転換 (富山大¹)○笹川陽菜¹, 保田修平¹, 田口 明¹, 椿 範立¹ 2G10(13:15～13:30)ゼオライト細孔内への高活性 Rh ナノ粒子の多量内包とメタネーション触媒への応用 (名古屋大¹, 北海道大²)○Fan, Y.¹, Shi, W.¹, 大津岳士¹, 沢邊恭一¹, 薩摩 篤¹, 織田 晃² 2G11(13:30～13:45)Cu 触媒とモルデナイトゼオライトのタンデム型触媒による合成ガスからの酢酸メチルと酢酸の選択合成-モルデナイトへの Ag の添加効果- (産総研¹)○志村勝也¹, 中村 功¹, 藤谷忠博¹ 2G12(13:45～14:00)排熱利用を目指した多孔質 SiC 反応部の基礎伝熱特性の検討 (NGK¹)○橋本壮侍¹, 吉岡邦彦¹, 坪内 修¹, 安藤淳一¹ 休憩 (14:00～14:15) 司会 粟屋恵介氏 (熊本大学) (14:15～15:15) 2G13(14:15～14:30)不均一系触媒を用いた低圧水素ガスによる NAD⁺の選択的水素化に対する担持金属の効果 (大阪公大¹, 京都大²)○木津直翔¹, 田村正純², 石田玉青¹, 天尾 豊¹ 2G14(14:30～14:45)糖類の酸化によるギ酸合成のための金属酸化物の探索 (北海道大¹)○秋山 尊¹, 神谷裕一¹, 大友亮一¹ 2G15(14:45～15:00)バイオリファイナリーに向けたリグニン由来化合物の水素化脱酸素反応用ゼオライト触媒の開発 (科学大¹, 京都府立大², Chulalongkorn Univ.³)○左 権¹, Wijitrat, A.¹, 宮藤久士², Ngamcharussrivichai, C.³, 横井俊之¹ 2G16(15:00～15:15)Chevrel 型 Mo₆S₈微粒子への異金属導入と水素化反応への展開 (科学大¹, 室蘭工大²)○上村駿介¹, 石川理史¹, 神田康晴², 原 亨和¹